名古屋市病院局　平成24年度決算の概要

名古屋市病院事業は、東部医療センター、守山市民病院、西部医療センター及び緑市民病院の４市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

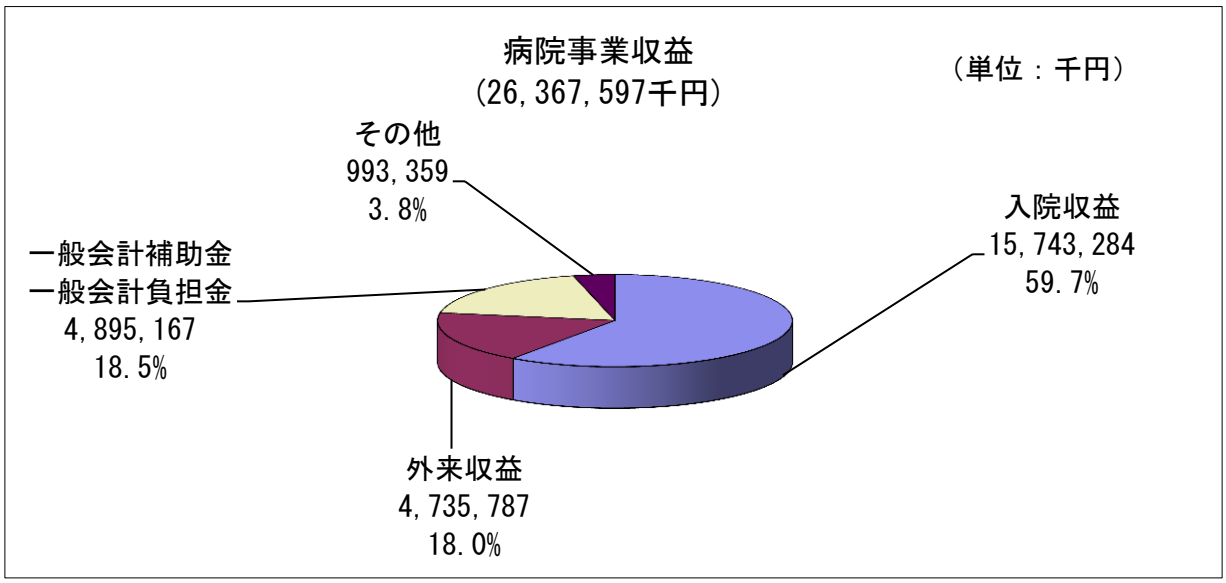
このうち、緑市民病院については、平成24年４月から利用料金制による指定管理者制度を導入しました。また守山市民病院を平成25年３月で市立病院としては廃止することに伴い、病院事業会計に加え、守山市民病院会計を設置しました。

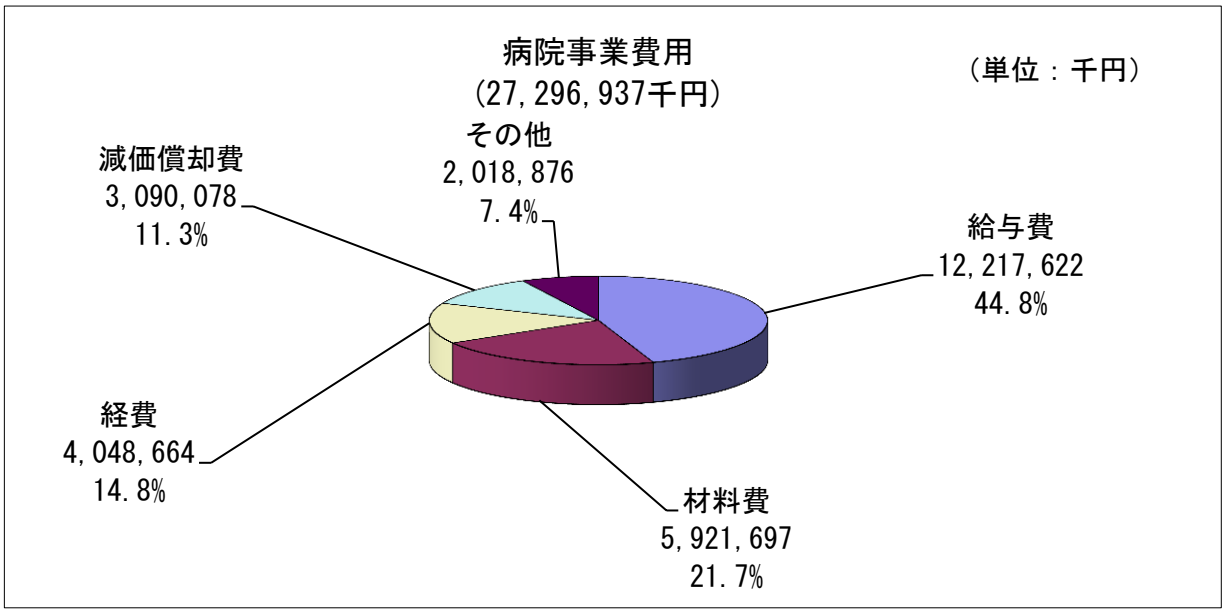
まず、守山市民病院を除く病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は263億6,759万円余であるのに対し、総事業費用は272億9,693万円余でした。当年度純損失は9億2,934万円余であり、当年度未処理欠損金は156億7,886万円余となっています。

守山市民病院会計の収益的収支は、総事業収益が57億3,700万円余であるのに対し、総事業費用は62億1,452万円余でした。当年度純損失は4億7,751万円余であり、当年度未処理欠損金は61億6,491万円余となっています。

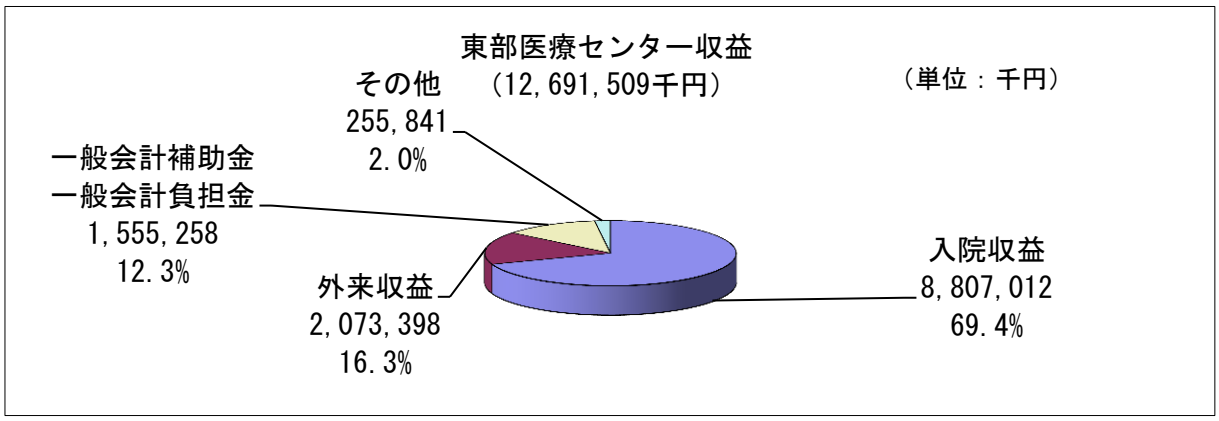
平成24年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは救急・外来棟の改築工事、西部医療センターでは陽子線治療センター附属施設の取得のほか、各病院の整備充実に努めました。

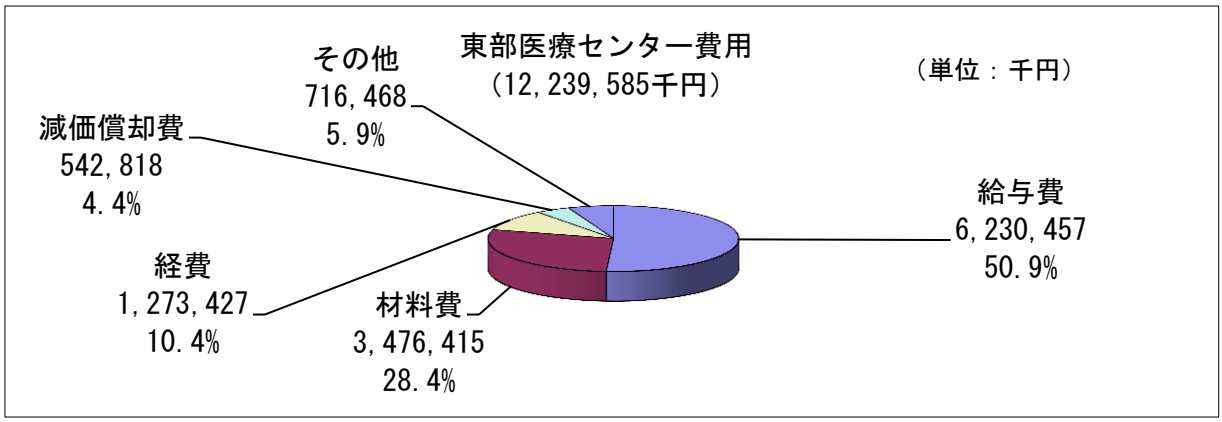
1　病院事業会計の収支



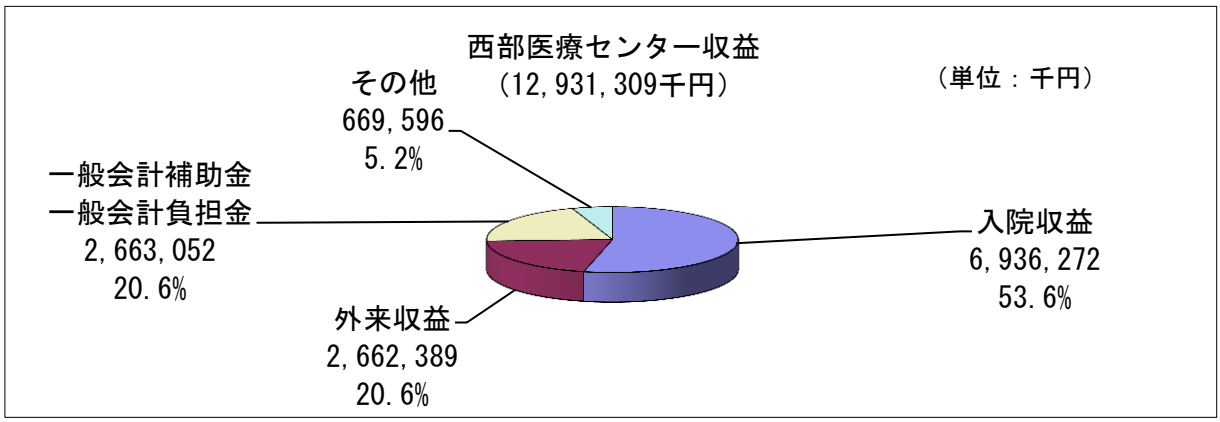


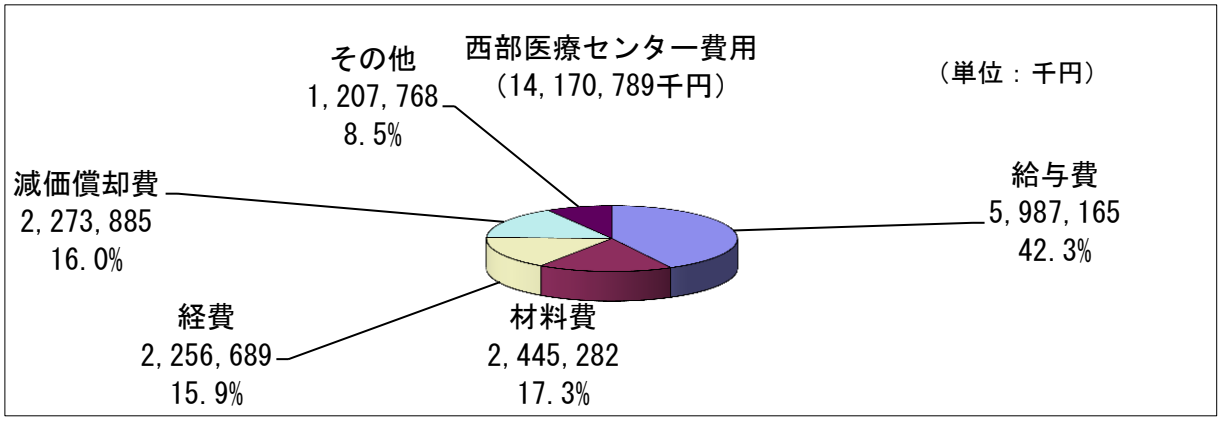
(1) 東部医療センター



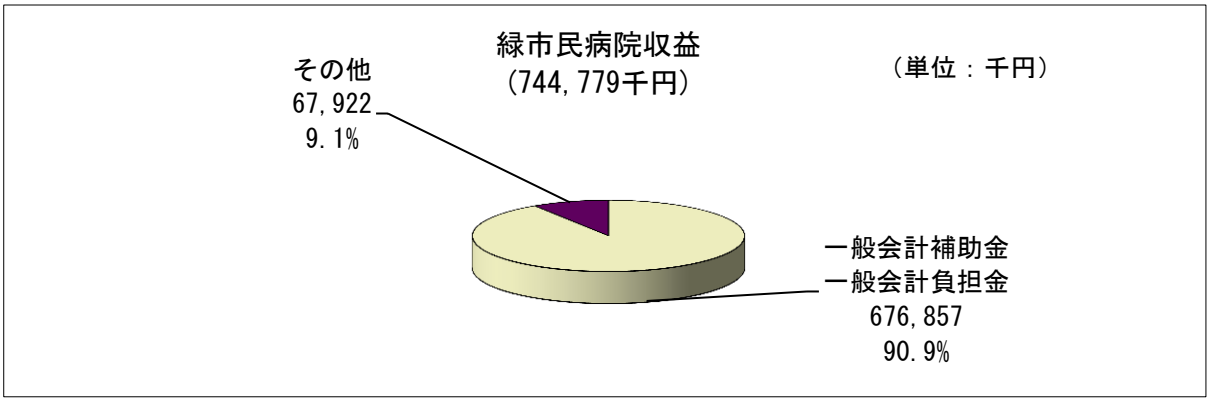


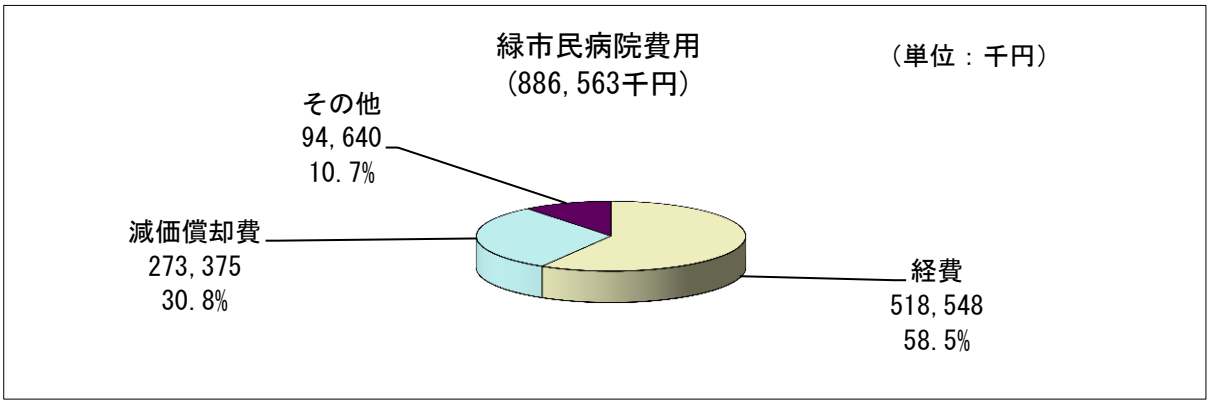
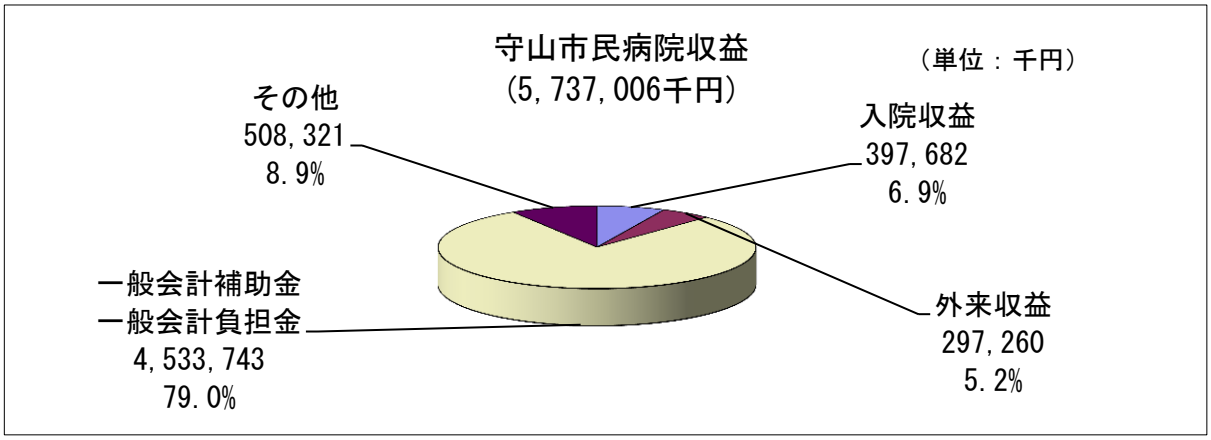
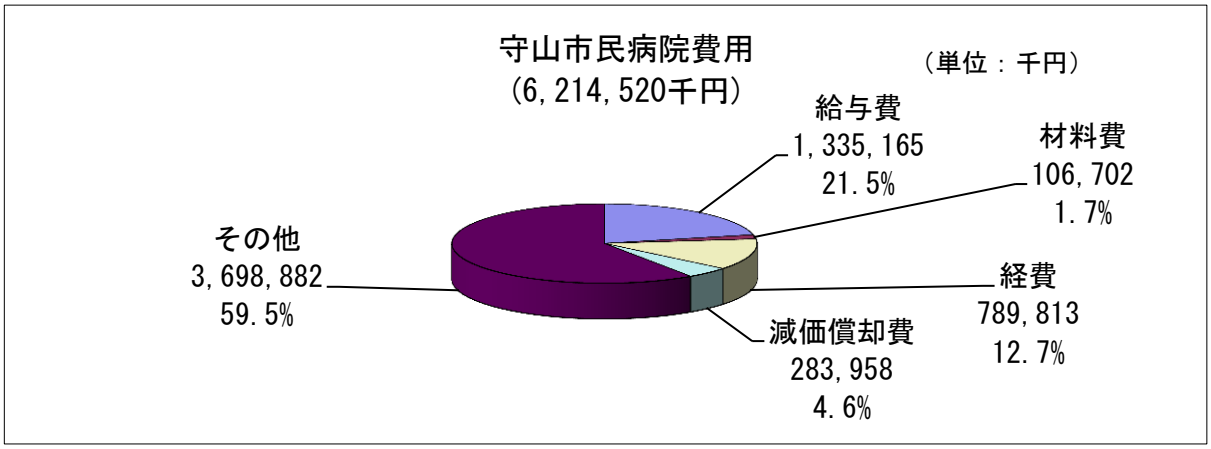
(2) 西部医療センター





(3) 緑市民病院





2　守山市民病院会計の収支